

## 第5回公開講演会

### プログラム

日時	昭和60年3月26日(火)～27日(水)
場所	分子研研究棟101号室

3月26日(火)午後

☆はじめに	分子研センター	諸熊 奎治
☆スーパーコンピュータにいだく夢	分子研研究顧問	小谷 正雄
☆新システムのデザイン	分子研センター	柏木 浩
☆スーパーコンピュータによる大規模な計算機実験への期待	京大工	中西 浩一郎
☆私達の研究の経験からの期待	京大工	中辻 博
☆固体物理におけるスーパーコンピュータ利用	東大物性研	寺倉 清之
☆Gaussian80のVP-100におけるベクトル化	山口大教養	堀 憲次
☆酵素反応の解明に向って	北里大薬	梅山 秀明

3月27日(水)午前

☆励起分子の溶液内化学反応の問題点	分子研	大峰 嶽
☆二電子積分ベクトル化の試みと遭遇した問題	京大理	小原 繁
☆分子軌道計算と拡張記憶	東大理	小杉 信博
☆水溶液における輸送係数の異常性とベクトル化の工夫	京大理	片岡 洋右
☆物性理論における経路積分法・量子モンテカルロ法の効用	分子研	那須 奎一郎

3月27日(水)午後

☆Formula tape on direct CI	北大理	田中 皓
☆ユニバーサルモレキュラーメカニックス力場の作成計画とスーパーコンピュータ	北大理	大沢 映二
☆化学反応の微細機構の解析に向けて	阪大基礎工	笛野 高之
☆スーパーコンピュータの現状と将来	東大型センター	唐木 幸比古
☆ワークショップ打ち合わせ 新システムへの要望		

